

事業所名 グループホームとのむら

作成日 : 平成21年 12月 12日

評価結果

市町村提出日 : 平成 22年 1月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	入居されている一人ひとりの方たちが、更により良く暮らすための課題とケアのあり方について。	本人・家族の思いを大切にしつつ、介護支援専門員等を含めた話し合いの中で、居室担当は現状に即した介護計画を立案すること。	居室担当は日々のケアの中から情報を集めること。そして、主に介護支援専門員に集まる情報を共有かつ活用して、介護計画立案へと結びつけていくこと。	6 か月
2	52	入居されている一人ひとりの方たちが、居心地のよい共有空間を満喫できるあり方について。	玄関・フロア・台所・食堂・トイレなどの汚れを除き、清潔感を保てるようにすること。	共有スペースの保清に向けた話し合いを行うこと。汚れやすい箇所は毎日清掃をすること。また、事務用品などはなるべく共有スペースに置かず倉庫などへ整理整頓すること等。	6 か月
3	6	通路の施錠を含めて身体拘束をしないケアの実践について。	安全に配慮しつつ、日中の通路施錠を開錠できるように立案すること。	入居者の安全を確保しつつ、職員会議などで日中の通路開錠へ向けて計画立案へと結びつけていくこと。	6 か月
4	35	災害対策の一環として、夜間想定訓練について。	職員の夜間時の不安感をぬぐうために、夜間想定訓練立案すること。	地域の防災訓練計画と連携し、入居されている皆様の体調にも配慮して、無理のない範囲で夜間想定訓練立案へと結びつけていくこと。	6 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。